

FUKUCHI

Public
Relations

No.196
April

広報ふくち



息を呑むほど
愛おしい

福智町の天然記念物に指定されている「虎尾桜」。樹齢600年を超えた今もなお、春の季節には美しい花を咲かせ、大勢の見物客に感銘を与え続けています。この虎尾桜は、全国的にも希少価値の高いエドヒガンであり、最近の調査で福智町に群生していると判明した42本のエドヒガンの母樹であると考えられています。今回の特集では、福智町の春を象徴する桜・エドヒガンに迫ります。
【2022年3月28日11時11分撮影】

特集

桜の郷 里

2022
4

国内希少なエドヒガン
福岡県内では福智のみ

日本の春と言えば、やはり「桜」を思い浮かべる人が多いのではないだろうか。それほど私たちの人生と深く結びつく身近な存在である桜ですが、一般的に想像される桜は人工的に作られた「ソメイヨシノ」という品種で、それを含めた百以上もの園芸種類が存在すると言われています。その親となる11本の品種が昔から日本に自生している「基本野生種」といわれ、その中でも数が少なく、希少性の高い桜として知られる「エドヒガン」が町内に43本も群生していることが約32年に渡る調査で確認されました。「犬ヶ岳山脈（豊前市）」にある1本を除き、福岡県内のエドヒガンは福智町にしかなく、全国的にもその群生は非常に珍しいと言われています。太古からこの町に受け継がれてきた自然の宝ともいうべきエドヒガン。その貴重な桜は、今もなおこの町に息づいています。



mamezakura マメザクラ

開花 ▶ 3月下旬～5月上旬 / 分布域 ▶ 富士山周辺、北陸～中国
盆栽や鉢植えとしても栽培され、名前の通り小型（直径約2cm）で、下向きにびっしりと花を咲かせる豆桜。北陸から中国地方の日本海側にかけて分布する。花の色は、白～薄ピンク色が主流。



takanezakura タカネザクラ

開花 ▶ 5月上旬～7月 / 分布域 ▶ 北海道、東北、中部、近畿
奈良県よりも北の、標高1500～2800mの亜高山帯に分布する高嶺桜。高地への適応から、木の高さが1mに満たないものが多い。花弁は、白色から淡紅色までさまざま。ミネザクラの別名をもつ。



miyamazakura ミヤマザクラ

開花 ▶ 5月下旬～6月中旬 / 分布域 ▶ 北海道～九州
全国の冷温帯から亜寒帯の寒冷地に分布するほか、朝鮮半島からロシアのウスリー地方、千島列島から樺太に生育する深山桜。一つの花茎におしべの長い白い花を房状に咲かせる特徴がある。



kanhizakura カンヒザクラ

開花 ▶ 1月下旬～3月 / 分布域 ▶ 台湾、中国南部～東南アジア
本州よりも南の地域で栽培されている寒緋桜。濃いピンク色と釣り鐘形の花が特徴。日本で最初に開花する桜として沖縄県のリュウキュウカンヒザクラが有名だが、花が釣り鐘形ではない。



kumanozakura クマノザクラ

開花 ▶ 3月中旬～4月上旬 / 分布域 ▶ 紀伊半島南部
2018年、103年ぶりに基本野生種として登録された熊野桜。昔から現地で「二度咲く」といわれており、早咲きの桜をヤマザクラとは異なる種として認定。繊細な枝に明るいピンク色の花を付けることが特徴。



yamazakura ヤマザクラ

開花 ▶ 3月中旬～4月 / 分布域 ▶ 本州、四国、九州
温暖な気候を好むため、宮城県以南の低山や丘陵に多く見られる山桜。色の変化が少ない白い花、花と同時に生える赤褐色の新葉、横に筋が入る光沢のある樹皮、毛のない葉柄と花柄が特徴。



oshimazakura オオシマザクラ

開花 ▶ 3月下旬～4月中旬 / 分布域 ▶ 伊豆諸島、伊豆半島
沿岸部に多く生育する大島桜。数多くの園芸品種の原種でもある。花の直径が3～5cmと他に比べて大きく白い花が咲くこと、香りが高いことが特徴。桜餅を包む葉は、この桜の葉が使用されている。



oyamazakura オオヤマザクラ

開花 ▶ 4月～5月中旬 / 分布域 ▶ 北海道、本州、四国
北海道、東北から中部、北陸でよく見られる、雪や寒さに強い北国の大山桜。花の色が濃く、葉がより大きいことが特徴。国外でも、朝鮮半島やサハリンに分布。日本で一番開花の遅い桜として有名。



kasumizakura カスミザクラ

開花 ▶ 4月～5月 / 分布域 ▶ 北海道～九州
主に北海道と本州で見られる霞桜。ヤマザクラより上、オオヤマザクラより下の土地に生育する。花と同時に出る新葉、春霞のような白～淡紅色の花が特徴。開花はヤマザクラよりも1～2週間遅い。



chojizakura チョウジザクラ

開花 ▶ 3月下旬～4月下旬 / 分布域 ▶ 東北、関東、中部
花を横から見ると、スバイスの「丁字（クローブ）」に似ていることから命名された桜。東日本の太平洋側や九州の一部に分布する。下向きに咲く2cm弱の花、まばらな花数、白～淡紅色の小さな花弁が特徴。



特集

櫻の郷里

百以上の種類があるとされる桜の中でも、古来から日本に自生する桜「エドヒガン」は全国的な希少種として知られています。そんな希少価値が高いエドヒガンが福智町に43本も生育する、全国屈指の群生地であることが長年の調査で明らかに——今回は、まさに「櫻の郷里」である福智町に暮らしているからこそ知っておきたい……町内に分布するエドヒガンに迫ります。

桜の基本野生種

▼ 古来より日本に自生する桜の基本野生種11本を一挙ご紹介しします。



edohigan エドヒガン

開花 ▶ 3月中旬～5月上旬 / 分布域 ▶ 本州、四国、九州
東北から九州の山地に自生し、国外では韓国済州島、台湾、中国中部に分布する江戸彼岸。桜の中では最も寿命が長く、千年を越えるものもあり、有名な古木はこの種が多い。巨木になることでも知られる。



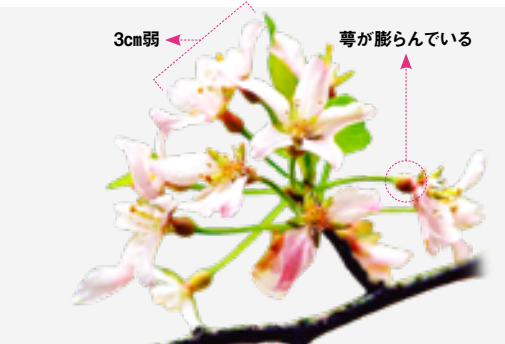
エドヒガンの「いろは！」
全体に毛が生える葉

葉は楕円形で、互い違いに生えている。葉の縁には鋭い重鋸歯（大きなギザギザ）の中に細かなギザギザがあり、葉の両面と葉柄に毛が生えている。また、新葉は花が咲いた後に生え、その色はヤマザクラの赤褐色とは異なり、緑色である。



エドヒガンの「いろは！」
縦に筋が入る樹皮

横に筋が入り、表面がツルツルしているヤマザクラの樹皮とは対照的に、エドヒガンの樹皮は、暗灰褐色で浅い縦の割れ目が入り、ザラザラしている。年を経るにつれて、柿の木のように剥離する。他の桜には、あまり見られない特徴であり、見分ける時のポイント。写真はエドヒガンの幹。



エドヒガンの「いろは！」
萼が特徴的な花

蕾は、淡い紅色。花弁は濃い紅色から純白に近い色まであり、個体差が大きい。咲き始めと終わりで、色が変わる。楕円形の花びらは5枚。丸い壺形の萼が最大の特徴。



群生地に住んでいるからこそ、知っておきたい……

エドヒガンの「いろは！」

広い地域に分布しているエドヒガン。しかしながら、その群生は日本全国でも珍しいといわれています。ここでは、貴重な桜が生育する町に暮らしているからこそ知っておきたい、エドヒガンの3つの特徴をご紹介します。



1 平成元年の再発見時、虎尾桜の幹には、シダやコケが着生。幹と根の北側半分が高さ2mまで腐食し、幹内部は内径80cmが空洞化していた。生存部と枯死部に亀裂が入り分離した状態で見つかるほど傷ついた状態で発見された。

2 高さ20mの高所で、杉とこすれて付いた傷や伐採部分を保護する作業風景。腕利きの樹木医として知られ、平成11年から虎尾桜の再生を支えた宇佐美 囃一さん(写真中央)。治療の甲斐あって、平成16年から毎年花を付けるように。

3 現在の虎尾桜の幹の付け根部分。幹内部の約7割は枯死しており、残り3割の健全部と、写真中央の上から下に向かって生えている「不定根」で、栄養や水分を桜全体に行き渡らせている。

毎年その姿を一目見ようと、桜前線と共に町内外から多くの見物客が来訪。今では絶大な人気を誇る虎尾桜ですが、第2次世界大戦後の大造林政策による環境変化で、33年前までは人々に忘れ去られ、枯死寸前だったことをご存知でしょうか。

県内最大にして町内最古町内エドヒガンの母・虎尾桜
上野越登山口から入り、せせらぎを聞きながら案内板を頼りにひたすら登って約30分。うつそうと茂る深緑の杉林を縫うように進むと、その隙間から紅一点の鮮やかなピンク色が目に飛び込んできます。その先で私たちを待っているのが、高さ23m、幹周り3・83mを誇る県内最大のエドヒガン・虎尾桜。年齢は六百を超えており、町内に群生するエドヒガンの母樹として考えられています。平成12年に町の天然記念物として指定された虎尾桜。千を超える杉林に囲まれながら、凛とした強さと、訪れるすべての人を包み込む優しさを兼ね備えています。

枯死寸前から奇跡の再生
仰ぎ見る人の心に平穏を

安心・安全に登ってほしいから！

虎尾桜へと続く橋リニューアル



虎尾桜へと渡る吊り橋が、経年劣化によって一部抜け落ちたり、腐食したりと、非常に危険な状態になっていました。そこで、桜の開花シーズンを前に吊り橋をリニューアル。皆さまが安心・安全に登山を楽しめるよう一新しました。

備えあれば憂いなし！

万が一のために提出しよう 登山計画書



低山でも天候の変更などで、思いがけず遭難や事故に遭う場合があります。県内の山に登る時は「もしも」の時のお守りとして搜索・救助活動時に役立つ「登山計画書」を事前に提出しましょう。福岡県警察公式HP内の専用フォームから簡単に申請できます。

福岡県警察本部地域課
☎ 092-641-4141



→今年3月6日に行われた毎年恒例の「虎尾桜を心配する世話人会」活動。総勢9人で、虎尾桜周辺の下刈りと土壌改良のための肥料撒きを実施。



るよう、毎年満開の桜を咲き誇る福智山の霊木・虎尾桜。ため息が出るほど美しい…その姿を仰ぎ見る全ての人の心にこれからも、エドヒガンの花言葉である「心の平穏」を与えていくことでしよう。

「かつては人々に忘れ去られ、生を終えようとしていた虎尾桜。人の手と心で奇跡の回復を遂げ今では誰もが見惚れる名桜に――」

町内に分布するエドヒガンの母樹と考えられる県内最大にして町内最古のエドヒガン・虎尾桜。樹齢六百年を越えてもなお美しく咲き誇る姿を毎年多くの見物客が仰ぎ見る人気の桜ですが、第2次世界大戦以降、社会の趨勢に取り残されたように忘れ去られ、静かに枯れようとしていました。



8 岩屋川／弁城川上流域



岩屋石灰岩地上部②／標高 500 m

調査日 ▶ 2019 年 4 月 6 日
木の大きさ ▶ 胸高周囲 90cm × 樹高約 7 m

No. 7 の「岩屋石灰岩地上部①」から右斜め上方に急傾斜の岩場を登る。あまり大きな桜ではないが、大岩の割れ目に生えており、谷側に伸びている。花は白色に近い淡紅色。この真下に胸高周囲 90cm、2 本立ちのヤマザクラがある。

1 岩屋川／弁城川上流域



弁城ダム人家近く／標高 155 m

調査日 ▶ 2018 年 3 月 30 日
木の大きさ ▶ 根回り 150cm × 樹高約 10 m

岩屋線林道分かれから約 50 m 先にある。高さ 0.8 m の所で西側に 1.5 m の所で北側に分枝していて枝張りが広い。主幹は高さ 1.5 m の所で根回り 128cm。花は淡紅色。

9 岩屋川／弁城川上流域



岩屋権現自然公園上方尾根上部／標高 471 m

調査日 ▶ 2019 年 4 月 6 日／木の大きさ ▶ 胸高周囲 151cm × 樹高約 20 m

稜線上の比較的平たんな場所で露岩もない。幹は高さ 3 m の所で分枝している。周囲にイヌシデ、アカメガシワ、タブキノ、ヤブニッケイ、ヤブツバキなどの高い木が茂っているため、樹下からは梢は見えにくい。花は白色に近い淡紅色。

2 岩屋川／弁城川上流域



岩屋線林道東側／標高 172 m

調査日 ▶ 2019 年 4 月 2 日
木の大きさ ▶ 根回り 70cm × 樹高約 9 m

林道から約 30 m。若い木で直幹。花はほとんど白色。周囲には黒葉樹が茂り、花は樹下から見えない。

10 岩屋川／弁城川上流域



岩屋権現自然公園上方尾根中部／標高 429 m

調査日 ▶ 2019 年 4 月 6 日／木の大きさ ▶ 胸高周囲 134・100cm × 樹高約 17 m

No. 9「岩屋権現自然公園上方尾根上部」から自然林の斜面を約 110 m 下る。幹は根元から 2 本立てで大きい方は高さ 3 m でさらに分枝している。根元には小石があるが大岩はない。こもタブキノやヤブツバキなどが茂り、樹冠は見えにくい。花は淡紅色。

3 岩屋川／弁城川上流域



岩屋線林道下部／標高 197 m

調査日 ▶ 2018 年 3 月 30 日
木の大きさ ▶ 根回り 128cm × 樹高約 15 m

林道途中から人家の方への道を約 50 m 下ると、左側の竹藪の下部に立っている。咲き始めは紫紅色。満開時は紅色。幹の高さは 1.5 m の所で分枝している。

11 岩屋川／弁城川上流域



岩屋権現自然公園上部①／標高 374 m

調査① ▶ 1998 年 3 月 30 日／木の大きさ ▶ 胸高周囲 169cm × 樹高約 20 m
調査② ▶ 2019 年 4 月 13 日／木の大きさ ▶ 胸高周囲 182cm × 樹高約 22 m

自然公園上方の杉山とその上の自然林との境目にエドヒガン 3 本と珍しいヤマナシの大木が並んで存在。この中で最も東にある木。枝張りは南北に 20 m、東西に 15 m と大きい。キツナなどが上がり、木を弱らせている。花はソメイヨシノより少し濃いピンク色。

4 岩屋川／弁城川上流域



岩屋権現の斜め上方／標高 340 m

調査日 ▶ 2019 年 4 月 2 日
木の大きさ ▶ 根回り 134cm × 樹高約 13 m

岩屋権現から岩屋川を約 100 m さかのぼり、杉山の小さな谷を左上方に約 50 m 登ると杉林と自然林との境に立っている。一本立ちで、高さ 8 m まで分枝なし。スダジイやタブキノ、ヤマザクラなどの高い木に囲まれている。花は淡紅色。

12 岩屋川／弁城川上流域



岩屋権現自然公園上部②／標高 375 m

調査① ▶ 1998 年 3 月 30 日／木の大きさ ▶ 胸高周囲 131cm × 樹高約 18 m
調査② ▶ 2019 年 4 月 6 日／木の大きさ ▶ 胸高周囲 140cm × 樹高約 19 m

No. 11 と同じ並びの真ん中の木で、No. 11 から約 10 m 離れ、30 度の傾斜地に生えている。高さ 5 m の所で分枝しているが、片方は枯れている。スギ、タブキノ、ケヤキなどに遮られ、樹冠はよく見えない。咲き始めは紅色、後にソメイヨシノより少し濃い色になる。

5 岩屋川／弁城川上流域



No Photo

岩屋川砂防堤／標高 326 m

調査① ▶ 1998 年 3 月 30 日／木の大きさ ▶ 胸高周囲 34cm × 樹高約 5 m
調査② ▶ 2019 年 3 月 31 日／木の大きさ ▶ 胸高周囲 95cm × 樹高約 8 m

岩屋権現自然公園の最上方、岩屋川右岸、高さ 2 m の人口の石垣の上にある。幹は川の方に差し出ており、タブキノが邪魔している。花は紫紅色で、散る頃まで色を残していた。

13 岩屋川／弁城川上流域



岩屋権現自然公園上部③／標高 376 m

調査① ▶ 1998 年 3 月 30 日／木の大きさ ▶ 胸高周囲 156cm × 樹高約 20 m
調査② ▶ 2019 年 4 月 6 日／木の大きさ ▶ 胸高周囲 165cm × 樹高約 23 m

No. 11 と同じ並びの桜の内、最も西側にある。露岩 30%、30 度の傾斜地にある。直径 10cm 以上のヤマフジのかずらが 3 本も上がっており、木が弱ったのか、2019 年は開花しなかった。1998 年で花は、咲き始めは紅色、後にソメイヨシノより少し濃い色になった。

6 岩屋川／弁城川上流域



天狗桜／標高 455 m

調査① ▶ 1998 年 3 月 30 日／木の大きさ ▶ 胸高周囲 190cm × 樹高約 8 m
調査② ▶ 2019 年 4 月 6 日／木の大きさ ▶ 胸高周囲 220cm × 樹高約 10 m

木は 30 度の傾斜地に生えており、すぐ西側には石灰岩の大きな岩があり、斜面上方には石灰岩の累積する大地がある。枝針は東西に 20 m 以上、南北に 13 m ある。もともと紅紫色の花だったが、二度目の調査時は淡紅色に。樹齢推定は 100 年。

14 岩屋川／弁城川上流域



No Photo

岩屋線林道①／標高 300 m

調査① ▶ 1998 年 3 月 30 日／木の大きさ ▶ 胸高周囲 192cm × 樹高約 20 m
調査② ▶ 2019 年 3 月 31 日／木の大きさ ▶ 胸高周囲 231cm × 樹高約 23 m

岩屋権現自然公園の林道ゲートから 150 m、左に小さな谷を 30 m 登る。谷底から 10 m 左上の斜面にある。木はタブキノやカゴノキ、ヤブニッケイなどの高い木に埋もれ、危険な状態にある。咲き始めは紅色、後にソメイヨシノより少し濃い色になる。推定樹齢 95 年。

7 岩屋川／弁城川上流域



岩屋石灰岩地上部①／標高 476 m

調査日 ▶ 2019 年 4 月 6 日
木の大きさ ▶ 胸高周囲 145cm × 樹高約 12 m

天狗桜からほぼ水平に杉山を抜けると次の谷間にある。周辺は岩場で上部はヤブツバキやシロタモ、ヤブニッケイなどの自然林で、その他はスギの造林。直径 10cm 以上のヤマフジ 2 本が上がっていた。花は白色に近い。

町内 43 のエドヒガン

▼ 調査によつて確認された、福智町内に群生する希少価値の高いエドヒガンの桜 43 本。7 ページから 9 ページかけ、すべての桜を個体別にご紹介します。

町内 43 のエドヒガン

内最古の虎尾桜の種子を小鳥が散布して生まれたと考えられる上野地域のエドヒガン。桜は太陽の光を好むため、暗い場所では発芽・生育できません。太平洋戦争中の福智山地は多くの木が伐採され、山が荒れていたので桜の生育に好都合の環境が整っており、現在見られるエドヒガンの大木の多くはこの時期に発芽したものと考えられています。なお、戦後の大造林政策により多くのエドヒガンが消失し、現在の本数にまで減少したとも言われています。

No.17～No.26 上野地区(9)

▲ 直方・北九州方面

紹介する大多数のスポットは獣道！
桜鑑賞にご注意を



6～9 ページでご紹介する町内のエドヒガンの多くは、大変危険な山中に自生しています。むやみに行くとは遭難や大ケガをする可能性が非常に高いため、危険のない場所から見るなど、安全には十分留意してご鑑賞ください。

赤池

ぐんせいち

弁城・伊方

分

布密度が最も高い岩屋川及び弁城川上流域。岩屋地域の多くは、スギの植えられない石灰岩地帯や、林班の境の自然林が残されている場所に生育しています。石灰岩地は貧栄養、高カルシウムで乾燥がひどいため、一般の樹木の成長が遅延。太陽の光を遮る周囲の樹木がないため、生育には好都合の環境であったと考えられます。弁城川上流は変成岩で、所により石灰岩が露頭。この地域には町内で 2 番目に大きなエドヒガン「奥ヶ畑の大ヒガン」があります。



分

の地域の上部山地はほとんどがスギの造林地ですが、山麓部はスギ・ヒノキの造林、竹林、雑木林がパッチワーク状に分布する上弁城・広谷・長浦地域。桜は雑木林の中にありますが、大半はヤマザクラでエドヒガンの本数は多くありません。しかし、長浦地域には虎尾桜に次ぐ大きさを誇る「墓守の大桜」、上弁城地区には福智山系で 3 番目に大きな「奥ヶ畑の大ヒガン」があるなど、あと 1・2 年程度で環境省が定義する「巨樹」の条件に当てはまる大きなエドヒガンが生育しています。

No.1～No.16 岩屋川／弁城川上流域(16)

No.27～No.37 上弁城・広谷・長浦地区(11)

37

上弁城・広谷・長浦地区



No Photo

吉右衛門谷池の桜／標高 210 m

調査日 ▶ 2018 年 3 月 30 日
木の大きさ ▶ 胸高周囲 145cm × 樹高約 18m

吉右衛門谷池の東側 20 m の位置にある。周辺は、マダケや灌木がびっしり生えていて近づくのが大変な場所。木は高さ 2.5 m の所で分枝。根元には周囲 64cm のタブキノ、直径 8cm のヤマフジが上がっていた。花は淡紅色。久留守池から樹冠が見える。

30

上弁城・広谷・長浦地区



No Photo

方城2号線林道沿い③／標高 386 m

調査日 ▶ 2019 年 4 月 31 日
木の大きさ ▶ 根回り 171cm × 樹高約 8m

大曲橋手前 30 m、高さ 12 m のコンクリート壁の上にあり、枝は林道に差し出ている。根回りは 171cm、高さ 0.6 m の所で、周囲 98cm と 60 cm が分枝。主幹は 119cm。花の色は淡紅色。満開になるとほとんど白色になる。

23

上野地域



No Photo

海女ヶ桜／標高 520 m

調査① ▶ 1994 年 4 月 21 日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 128cm × 樹高約 18m
調査② ▶ 2017 年 8 月 26 日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 193cm × 樹高約 20m

福智山登山道から上野越下 70 m、イロハモミジなどの高い木と共存している。花は紫紅色。樹齢推定 80 年。幹はまっすぐに伸びている。周囲がふさがっているため、花は見えにくい。

1516

岩屋川／弁城川上流域



No Photo

岩屋線林道②／標高 285・286 m

調査日 ▶ 2019 年 3 月 31 日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 66cm × 樹高約 8m
木の大きさ ▶ 胸高周囲 44cm × 樹高約 8m

2 本共ごく若いエドヒガン。方城 2 号線林道のゲートから 190 m 先、コンクリート壁のすぐ上にあって 2 本は上下に並んでいる。下の木の枝は林道に差し出ている。花は白色に近い。周囲はモウソウチク林。

38

上弁城・広谷・長浦地区



No Photo

奥ヶ畑の大ヒガン／標高 200 m

調査日 ▶ 2019 年 5 月 13 日
木の大きさ ▶ 胸高周囲 283cm × 樹高約 25m

奥ヶ畑の水源近くの住居跡からマダケの生える谷間を約 80 m。さらに右に急斜面を約 20 m 登った所に立つ。桜の幹は周囲 283cm、根回り 341cm もあり、福智山地では 3 番目に大きな桜。高い木に囲まれているが今は桜の樹冠を超えるものはない。花はほぼ白色。

31

上弁城・広谷・長浦地区



No Photo

大曲橋直下／標高 360 m

調査日 ▶ 2019 年 3 月 31 日
木の大きさ ▶ 胸高周囲 113・68cm × 樹高約 10m

大曲橋直下、弁城川の谷底左岸。砂防堤より約 15 m 上方の急斜面にある。幹は川の方に倒れている。樹冠をヤマフジやムベなどのツル植物が被っていて、花付はよくない。花はソメイヨシノよりやや濃い。

24

上野地域



No Photo

鷹取山頂直下①／標高 490 m

調査日 ▶ 1998 年 3 月 31 日
木の大きさ ▶ 胸高周囲 103cm × 樹高約 20m

電波の反射板から旧道を進む。鷹取山山頂真下に当たるところの道の土側。花は淡紅色。

17

上野地域



No Photo

虎尾桜／標高 380 m

【町指定文化財(天然記念物)】
調査日 ▶ 1990 年 4 月 20 日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 383cm × 樹高約 23m

上記の木の大きさは発見当時のもので、現在は腐朽が進んで幹周りの測定ができない。花は紅色で非常に美しい。樹齢 600 年以上、1990 年以降「虎尾桜を心配する世話人会」をはじめ、多くの人が関わって保全してきた。

39

その他の地域



No Photo

広谷の紅桜／標高 330 m

調査日 ▶ 2009 年 3 月 24 日
木の大きさ ▶ 胸高周囲 195cm × 樹高約 20m

30 度あまりの傾斜地に生えている。幹は高さ 3 m の所で二又に分かれており、それぞれ直径 40cm あまり。花は紫紅色できれい。この桜の斜め下には同程度のヤマザクラがある。朝倉線林道の入口付近から稜線西側の斜面によく見える。樹齢推定 95 年。

32

上弁城・広谷・長浦地区



No Photo

大曲橋下谷底／標高 352 m

調査日 ▶ 2019 年 3 月 31 日
木の大きさ ▶ 4 本立ちの根回り 295cm × 樹高約 17m

砂防堤の下方約 10 m の川底に近い場所にある。ほとんど地際から 4 本立ちになっているが、正しくは周囲 113cm と 122cm、82cm と 76cm の 2 つに分かれている。樹下にヤブツバキやアオキがあった。花は満開時は白色に近い。上の林道から谷底によく見える。

25

上野地域



No Photo

鷹取山頂直下②／標高 485 m

調査日 ▶ 1998 年 3 月 31 日
木の大きさ ▶ 胸高周囲 83cm × 樹高約 12m

No 24「鷹取山頂直下①」のある登山道の下側。一帯はイロハモミジ、タブキノなどの高い木が茂っていて発見しにくい。花は淡紅色。

18

上野地域



No Photo

源氏桜／標高 490 m

調査① ▶ 1994 年 4 月 13 日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 187cm × 樹高約 22m
調査② ▶ 2018 年 5 月 30 日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 230cm × 樹高約 24m

虎尾桜から東方へ歩いて約 50 分。平家桜から 70 m 先。花は濃紅紫色。虎尾桜から 1 週間遅れて開花する。樹齢推定 95 年。樹勢は良好で、毎年「虎尾桜を心配する世話人会」が手入れを行っている。

40

その他の地域



No Photo

朝倉線林道最上部大曲の桜／標高 420 m

調査日 ▶ 2019 年 4 月 13 日
木の大きさ ▶ 双幹 180・154cm × 樹高約 18m / 根回り ▶ 320cm
朝倉線林道の終点近くに生える桜。林道に面した急斜面にあり、枝の一部は林道に差し出ている。根回り 320cm。幹は地際で 2 本に分かれ、胸高周囲は 180cm と 154cm、枝張り は 20 m 以上あり最大級の桜。咲き始めはピンク色、後に淡紅色。樹齢推定 90 年。

33

上弁城・広谷・長浦地区



No Photo

大曲橋からの稜線／標高 385 m

調査日 ▶ 2019 年 3 月 31 日
木の大きさ ▶ 胸高周囲 110cm × 樹高約 12m

大曲橋から林道を約 35 m、高いコンクリート壁のすぐ上にある。周囲にはタブキノやシロダモ、ヤブツバキなどの亜高木が茂り、木にはヤマフジやクズなどが上がっている。花は淡紅色。

26

上野地域



No Photo

三姉妹／標高 425 m

調査日 ▶ 1998 年 3 月 31 日
木の大きさ ▶ 胸高周囲 83.63.46cm × 樹高約 8m

虎尾桜から尾根を登った左側にある。倒れた幹から 3 本の幹が並んで立ち上がったもの。花は紅色できれいな姿から三姉妹と名付けられた。

19

上野地域



No Photo

平家桜／標高 475 m

調査① ▶ 1994 年 4 月 13 日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 170cm × 樹高約 25m
調査② ▶ 2018 年 5 月 30 日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 214cm × 樹高約 27m

源氏桜の手前。花は淡紅色。樹齢推定 95 年。源氏桜とほぼ同じ大きさ。周囲にある高い樹木に埋没している。

41

注目すべき植栽樹



No Photo

おくせどの桜／標高 120 m

調査① ▶ 2003 年 4 月 6 日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 125cm × 樹高約 15m
調査② ▶ 2018 年 6 月 19 日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 197cm × 樹高約 20m

上野皿山の住人が 1958 年頃に福智山の本谷から持ち帰り庭先に植えたエドヒガン。持ち帰った苗はほぼ 10 年生であったと考えられており、2018 年で 60 年を経過。現在の樹齢推定は 74 年。咲き始めは紫紅色、満開時には淡紅色になる。

34

上弁城・広谷・長浦地区



No Photo

大曲橋東方稜線／標高 450 m

調査日 ▶ 2019 年 3 月 31 日
木の大きさ ▶ 胸高周囲 (根元で分枝) 117・81cm × 樹高約 16m

No 33「大曲橋からの稜線」から急斜面の杉山を登ると、また亜高木の自然林に出る。この桜は母樹が枯れる前にできたこばえが生長したもので、根元で 2 本に分かれ、小さい方の幹は斜上して梢は下方のスギに触れている。花は淡紅色。

27

上弁城・広谷・長浦地区



No Photo

ガードレール下／標高 320 m

調査① ▶ 1998 年 3 月 30 日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 170cm × 樹高約 18m
調査② ▶ 2019 年 3 月 31 日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 208cm × 樹高約 20m

方城 2 号線林道の 大曲橋手前約 180 m のガードレール下の谷間にある大木。杉木立に埋もれており、道の上からはよく見えない。高さ 3 m 以上に枝があるが、多くは谷の下側に伸びている。花はソメイヨシノよりやや濃い。推定樹齢 90 年。

20

上野地域



No Photo

平家桜の手前 50 m／標高 465 m

調査① ▶ 2018 年 5 月 30 日
木の大きさ ▶ 胸高周囲 154cm × 樹高約 15m

福智山登山道から数 m 谷側。幹の高さ 1.5 から 2.5 m に傷がある。花は淡紅色。

42

注目すべき植栽樹



No Photo

福泉坊の桜／標高 180 m

調査① ▶ 2004 年 3 月 26 日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 110cm × 樹高約 10m
調査② ▶ 2019 年 3 月 29 日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 117cm × 樹高約 11m

かつての修験者の坊跡である福泉坊屋敷の奥の墓地に生えている。位置から考えると墓守の桜であると推測される。幹は上段の墓地から下段の墓地に傾いており、ヒノキやシラカシ、タブキノなどに埋もれている。咲き始めは紫紅色で満開時は淡紅色になる。

35

上弁城・広谷・長浦地区



No Photo

※ 上部の桜が No.35

大曲橋東方稜線の2本の紅桜①／標高 478 m

調査日 ▶ 2019 年 3 月 20 日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 206cm × 樹高約 25m

稜線の標高 480 m 付近にあるタブキノ、スズジイ、イヌシデ、イイギリなどの高さ 25 m を超える大木が残されており、ここに No 35 と No 36 のエドヒガンがある。この 2 本のエドヒガンの大木は上下に 6 m 離れている。どちらも濃い紫紅色。

28

上弁城・広谷・長浦地区



No Photo

方城2号線林道沿い①／標高 368 m

調査① ▶ 1998 年 3 月 30 日 / 木の大きさ ▶ 幹周り 52・49・28cm × 樹高約 5m
調査② ▶ 2019 年 3 月 31 日 / 木の大きさ ▶ 幹周り 108・100・68cm × 樹高約 11m

No 27 の「ガードレール下」から大曲橋寄りに約 50 m、林道より 10 m 上方にある。基部は 2 本だが、すぐに分枝して 3 本たちになっている。花の色は淡紅色。

21

上野地域



No Photo

源平桜途中の小尾根上／標高 500 m

調査日 ▶ 2018 年 5 月 30 日
木の大きさ ▶ 胸高周囲 123cm × 樹高約 15m

八丁越への登山道から源平桜へ最初の谷川を渡って約 80 m 先の小尾根を左に入る。花は淡紅色。この尾根上には胸高周囲 245cm をはじめ 200cm 級の大きなヤマザクラが数本ある。

43

注目すべき植栽樹



No Photo

長浦の墓守の桜／標高 265 m

調査日 ▶ 2019 年 6 月 2 日
木の大きさ ▶ 高さ 0.8 m で 295cm × 樹高約 25m (根回り 330cm)

長浦集落で最も高所にある墓地の墓守の桜と考えられる。高さ 0.8 m の所で 3 本に分枝。分枝直下の大きさは周囲 295cm。3 本の胸高周囲の合計は 417cm、高さ 0.3 m の根回りは 330cm で虎尾桜に次ぐ大きな桜。花は淡紅色。推定樹齢 130 年。

36

上弁城・広谷・長浦地区



No Photo

※ 下部の桜が No.36

大曲橋東方稜線の2本の紅桜②／標高 480 m

調査① ▶ 1996 年 4 月 16 日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 151cm × 樹高約 20m
調査② ▶ 2019 年 3 月 20 日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 190cm × 樹高約 25m

No 35「大曲橋東方稜線の 2 本の紅桜」のもう一対。どちらの桜 (No 35・No 36) も下部に枝はなく、梢は他の樹木に遮られているため、樹冠を見ることができない。どちらも推定樹齢は 90 年。

29

上弁城・広谷・長浦地区



No Photo

方城2号線林道沿い②／標高 369 m

調査日 ▶ 2019 年 3 月 31 日
木の大きさ ▶ 胸高周囲 128cm × 樹高約 13m

No 28 の「方城 2 号線林道沿い①」からさらに 30 m 先。林道から 20 m 上方にある。一本立ちで、高さ 4 m まで分枝なし。花は淡紅色。

22

上野地域



No Photo

源平桜への途中／標高 535 m

調査日 ▶ 2018 年 5 月 30 日
木の大きさ ▶ 胸高周囲 167cm × 樹高約 17m

No 21 の「源平桜途中の小尾根上」からさらに谷奥へ。ガレ場を約 50 m 登ると右側の急斜面にある。花は淡紅色。

福智町の **絶滅危惧種**

多種多様な植物が町内に自生していますが、環境変化や心ない乱獲で、少しずつ姿を消しています。ここでは、国や県のレッドデータに掲載されながらも町内に生育する植物の中から、希少な5種類をご紹介します。

【ラン科】

ハツシマラン

国 ▶ 絶滅危惧ⅠA類 / 県 ▶ 絶滅危惧ⅠA類

夏緑樹林帯で生える、高さ5～10cm程度の小さな地生蘭。葉は、4～5枚が互生する。花期は7月。花順は直立し、淡紅紫色の花を数個、やや偏ってつける。

【ナス科】

ヤマホオズキ

国 ▶ 絶滅危惧ⅠB類 / 県 ▶ 絶滅危惧ⅠA類

林道沿いなどのやや明るい場所に生えるごくまれな多年草。ただし、その場所に毎年生えるとは限らない。花期は6～7月。花は葉腋に1～2個下垂する。

【イラクサ科】

ミヤコミズ

国 ▶ 絶滅危惧Ⅱ類 / 県 ▶ 絶滅危惧Ⅱ類

石灰岩地の岩上に生育する、分布の限られた好石灰植物。茎は高さが10～20cmで、時に40cmにも達する。岩の壁面に生えているものは、下垂している。

【スミレ科】

シコクスミレ

県 ▶ 絶滅危惧Ⅱ類

夏緑樹林帯の標高800～1100mの林下に生え、県内では福智山地や英彦山地のほか釈迦ヶ岳山地に分布が限られている白色のスミレ。花期は4月中旬から下旬。

【アカネ科】

イナモリソウ

県 ▶ 絶滅危惧Ⅱ類

照葉樹林帯上部から夏緑樹林にかけての林下のやや開けた場所にまれに見られる多年草。花期は5～6月。葉腋ごとに1個、または枝先に1-2個つき、紅紫色で美しい。

櫻の聲

こえ

県内唯一かつ全国的に珍しいエドヒガンの群生に胸が高鳴る一方、自然環境の変化によってその多くの生存が危ぶまれています。同様に、町内に生育する絶滅危惧種などの希少な植物も姿を消しつつある福智町。現状を町内の植物研究の第一人者である熊谷信孝さんにお話を伺いました。

「人の手で無くなることがあるなら、
人の手で守ることもできるはず」

大切な福智の宝を失う前に
目を向け守り次世代へ――

絶滅に瀕した動植物を世界、国、県のレベルで取り上げ、絶滅の危険度順に「絶滅危惧ⅠA類」「絶滅危惧ⅠB類」「絶滅危惧Ⅱ類」「準絶滅危惧」とランク分けした「レッドデータブック」。福智山を有する自然豊かな福智町には、国のデータとして上がっている18種類、福岡県のデータでは27種類の植物が生育しています。「遠目には気付かないが、植物は町から姿を消す一方…環境の改変や盗掘など、人の手で自然が脅かされている」と嘆く熊谷さん。町内のエドヒガンも地球温暖化の影響で生育が妨げられ、生存の危機にあるといいます。「何もしなければ、早くて10年以内に枯死が始まる。失った自然を取り戻すのは難しいが、今あるものを守ることはできる。まずは自然に関心をもってもらい、その後につなげてほしい」と力を込めて熊谷さんは訴えます。社会が豊かになる一方で置き去りにされがちな「自然」こそ、福智の宝。その宝に目を向け、保護し、次の世代に引き継いでいく――。それが今、この町で暮らす私たちに託された責務なのではないでしょうか。

「まさか、この町にエドヒガンがあるとは…あの瞬間の驚きと喜びは今でも忘れません」と笑顔を向けた町文化財専門委員の熊谷信孝さん。虎尾桜を再発見した後、福智町の植物研究の第一人者として、約32年の歳月をかけ、町内に分布する43本のエドヒガンの調査を行ってきました。「もともと希少なエドヒガン。密集して群生していることは、福岡県だけでなく、全国的にも珍しい」と目を細める一方、「その多くは劣悪な環境下に置かれ、枯れかけている木もある」と熊谷さんは、エドヒガンの生存に警鐘を鳴らしています。

探求心で発見された43の桜
多くは劣悪な環境下で生育

福智町文化財専門委員
熊谷 信孝 さん

上野在住。岡山大学理学部生物学科卒業後、地元の高校で教鞭を執る傍ら、植物研究者として植物地理分類学会会員、福岡県環境教育アドバイザーなどを歴任。平成9年には福岡県教育文化功労者表彰を受けた。

